

謹んで新年のお慶びを申し上げます



奥尻町長 新村 卓実

町民の皆様 新年あけまして おめでとーございます

令和として初めて迎える新春を、町民の皆さまとともに、健やかに迎えられますことを、謹んでお慶び申し上げます。皆さまには、平素から町政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、奥尻島が新聞やテレビに多く取り上げられた年だったと思います。

6月には、一昨年に撮影されましたチームナックスのメンバー5名全員が本町に来島し、本町の成人式へ出席した場面などがゴールデンタイムを含み、5回「ハナタレナックス」で放映されました。

また7月には、タカアンドトシの「宿ナシ二人旅」が、10月は「水谷豊」や「反町隆史」出演の「相棒18」スペシャル番組が2週連続で放映され

ました。

また、9月には「世界津波の日」2019高校生サミットin北海道が札幌市で開催され、サミットを前に米国や中国など海外16カ国から約80名の高校生が本島を訪れ、北海道南西沖地震の惨禍を伝える「津波館」や慰霊碑の「時空翔」などを視察し、奥尻高校生から津波被害や津波の恐ろしさを学ぶスタディツアーが行われました。そして、札幌市でのサミットには、奥尻高校からも生徒3名が参加し「過去の教訓を世界に伝え、未来に起こりうる災害に備えたい」と英語で主張しました。スタディツアーやサミットに参加した様子は、新聞やテレビにおいても紹介され、改めて津波の恐ろしさや本町の津波対策を世界各国に発信することができました。

さらに、奥尻高校においては、昨年4月に15名の島留学生が入学し、2年続けて15名以上の島留学生が入学したところであり、現在、令和2年度における島留学生用として、22名が生活できるまなびじま松風寮を増築しているところであり、完成しますと42名が勉学に励める松風寮となりますので、来年度においても15名以上の島留学生

入学を期待しているところがあります。また、町内出身の高校生と島留学生がスクラムを組んで、昨年以上の活躍ができることを期待するものがあります。

次に、日本ハムファイターズの応援大使についてであります。昨年11月下旬に開催されました日本ハムファンフェスティバルにおいて、本町の応援大使が選出されました。応援大使は、清宮選手と横尾選手であり、本町としても日本ハムは、北海道をフランチャイズとしている球団でありますので、同球団を応援するとともに、両選手の活躍を期待するものであります。

次に、今年の町政について概略であります。何点か述べたいと思います。

最初に、長年の課題でありました老朽化している役場庁舎の建設についてであります。昨年より「奥尻町総合庁舎等建設委員会」を設置し、建設場所を旧奥尻小学校跡地と決定したところであります。

新年度においては、旧奥尻小学校を解体し、新庁舎建設に係る実施設計に着手する予定であります。新庁舎においては「強く・柔らかく・便利で賢い庁舎」を目指す姿勢としております。



副町長	田中 敦詞
総務課長	新谷 順二
地域政策課長	杉山 静治
税務国保課長	山崎 和範
建設水道課長	片石 裕文
水産農林課長	満島 章
保健福祉課長	三浦 成一
企業管理課長	三上 郁也
発電課長	松田 雅樹
青苗支所長(兼環境センター所長)	阿部 元大
空港管理事務所長	深瀬 洋治
会計管理者	安藤 寛
他職員一同	

新元号が「令和」に変わり、 町民皆様がより良き年となりますように…

次に基幹産業の漁業についてであります。ここ数年は、北朝鮮籍による違法操業や地球温暖化などによる海水温の上昇により本町周辺海域で漁場が形成されず、本町の主要漁業でありますイカ漁が不漁となっており、漁船漁業への影響が深刻化しております。このため「アワビ・ウニ・ナマコ」などの磯根資源を中心に「採る漁業からつくり・育てる漁業」への転換を図っているところであります。しかし、採捕できるまでには一定の期間を要することから、今後も継続的に養殖や放流を継続してまいります。

また、農業においてもふるさと納税を活用し「奥尻米」の販売促進を図ってまいります。

次に観光についてであります。第7回となる「奥尻ムーンライトマラソン」につきましては、6月13日の開催が決定しているところであります。今年も町民皆さまの応援・ご協力をお願いいたします。また、今年8月に開催される東京オリンピック・パラリンピックのマラソンと競歩が札幌で行われることは、道民はもとより、本町町民にとりまして大変喜ばしいことであり、競技の成功を祈って

いるところであります。

一方、町民が島外へ出かける際に利用しておりますフェリー航路につきましては、今年からも時間帯が変更となっております。特に、7月～9月にかけては、奥尻港での停泊時間が長くなっておりますのでご注意ください。また、奥尻港湾においては、町民や観光客の憩いの場となる港湾を目指し、港オアシスの指定を目指しているところであります。

次に島内唯一の病院であります国保病院についてであります。昨年9月に突如として診療実績が乏しく再編・統合が必要と判断された全国424の公立・公的医療機関等として公表されました。早速、北海道町村会を通じて「国においては、将来の地域医療のあり方について、地域の実情を十分に踏まえた柔軟な対応を行うよう、強く要望する」とした「地域医療構想に関する緊急要望」を行ったところであります。今後とも国保病院の維持について国や道に要望してまいります。

次に財政状況についてであります。平成30年度の実質公債費率は10・8%で、将来負担比率も22・1%と早期健全化となる15%・35%をそれ

ぞれ下回っており、良好な財政状況を維持しております。しかし、町の貯金となります財政調整基金積立金は、8億8千5百万円と管内で一番低い積立金額となっております。また、役場新庁舎建設等に係る基金としては、1億円を公施設整備基金として積み立てておりますが、他にも老朽化している病院・奥尻幼稚園・整備工場の車検機器など公施設の建設が予定されていることから、財政規模にあつた新年度予算の計画を立てなければと思っております。

本年も安全で安心して暮らせる町づくりを基本としながら、将来の奥尻町にとって欠かすことのできない施策を一步一步着実に進め、奥尻町の更なる飛躍に向けて全力で取り組みますので、引き続き町民皆様のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに令和2年が町民皆様にとりまして、より良き年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和二年 元旦



- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>奥尻町国民健康保険病院</p> <p>院長 竹下和良
副院長 泉里豪俊
歯科医長 渡邊一史
薬局長 渡邊久代
看護師長 阿部千賀子
事務局長 阿部千賀子
他職員 阿部千賀子</p> | <p>奥尻町選挙管理委員会</p> <p>委員長 小林賢三
他委員 小林賢三
書記長 新谷順二</p> | <p>奥尻町監査委員</p> <p>代表監査 松川博俊
他委員 松川博俊
事務局長 鴈原哲夫</p> | <p>奥尻町農業委員会</p> <p>会長 海老原浩
他委員 海老原浩
事務局長 満島一章</p> |
|--|--|---|--|

町民一人一人が生きがいと 安心して暮らせる町づくりを目指して

町民の皆様

新年あけまして

おめでと〜ござります

令和二年の年頭にあたり

謹んで新年の

ご挨拶を申し上げます

昨年は令和という元号に変わり、天皇皇后両陛下の即位の礼など儀式を終え、国民の一人として感慨深い思いがしております。

また、全国各地で台風や低気圧による暴風や豪雨など、自然災害の被害が甚大な年でもありました。奥尻町においては幸いにも、大きな災害もない一年だったと思っておりますが、あらためて災害対策の重要性を感じております。

島の産業状況を振り返りますと、漁業においては、ウニ・ナマコ漁は安定した生産がありました。イカ・ホッケ漁など漁船漁業は水揚げの回復が見られない現状が数年に渡

り、早急に安定した水揚げの出来る漁業形態への推進が求められます。

土木・建設業においては、国、道など発注工事の増で、作業員の雇用や宿泊施設等にも経済効果が見られました。が、昨年五月からのハートランドフェリーの瀬棚航路の休止は観光産業だけでなく、車両搭載運賃の改定なども重なり、島全体の経済にも大きな影響があったと思います。

あまり明るい話題がありませんが、島の中では若い人達の意欲的な活動も見られます。また、現在増築している松風寮に入寮し、一人でも多くの島留学生が奥尻高校に入学してくれることを願いながら、奥尻町が現在抱えている多くの課題に向けて、それぞれの年代の知恵を結集し前進していかなければと、思いを新たにしております。

奥尻町はこれからも少子高齢化が続きますが、若い世代

が島で働ける環境づくりに今まで以上に取組んでいかなければなりません。行政・町民の皆さんと一つになってより活発な議会を目指していく所存です。

新しい年が皆様にとりまして、より良い年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和二年 元旦



奥尻町議会

副議長・総務産業常任委員

齋藤 伸彦

総務産業常任委員長・議会運営委員

菅委員・広報編集特別委員

水野 諭

議会運営委員長・総務産業常任委員

寅尾 裕志

議会運営副委員長・総務産業常任委員

議会議長・議会議長

榎山広域行政組合議会議長

青坂 賢二

広報編集特別委員長・総務産業常任委員

榎山広域行政組合議会議員

制野 征男

総務産業常任委員

工藤 勇

総務産業常任副委員長・広報編集特別副委員長

松塚 政継

事務局長

他職員一同

他職員一同

他職員一同



奥尻町教育委員会 教育長

石島 孝司

奥尻町教育大綱

『ふるさとに学び、次代を担う あたたかい人づくり』

新年あけまして

おめでとぅございませす

謹んで新年の

ご挨拶を申し上げます

新元号の「令和」となつて初めての新年を迎え、町民の皆様におかれましては、希望に満ち溢れた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は本町の教育行政に深いご理解と多大なるご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は『世界津波の日』2019高校生サミットin北海道のスタディツアーが奥尻町で開催され、海外から参加された多くの外国人高校生が、歴史や防災教育について学び、国際交流を深めた実り多い1年となりました。

中学生以下の子ども達にとって、高校生の凛々しい姿は身近な目標となつていきます。全ての子ども達は島の大切な財産であるため、奥尻町教育大綱に掲げた『ふるさとに学び、次代を担う、あたたかい人づくり』という目標に向け、町民皆様と共に子ども達の明るい笑顔と明るい未来

が広がるよう引き続き教育行政の推進と発展に努めて参ります。

さて、この場をお借りし昨年の教育行政を振り返り、今年の教育方針などに触れたいと思います。

初めに学校教育についてです。

小・中学校教育では「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入し地域とともにある学校づくりが定着してきました。

また、新年度から学習指導要領の改訂により、小学校においてはプログラミング教育の必修化や外国語教育の拡充が図られ、中学校でも令和3年度から学習指導要領が全面改訂となり、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すこととなります。

幼稚園教育においては、遊びを通じて多くを学ぶことが中心ですが、幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期と捉えています。今後も関係機関や保護者との連携を深め、園児達の健やかな成長に繋がる取り組みを進めて行きたいと思ひます。

高校教育では、奥尻高校が平成29年度から全国募集を開

始して以来『島留学生』が初めて卒業を迎えます。奥尻で学んだ3年間の貴重な経験を今後の人生の糧とし、大きく羽ばたかれるよう願うところです。

また、今年度をもって「高校寄宿舎整備事業」が完了となりますが、島留学生の受入れは高校存続のためにも必要な取組みで、島の新しい交流人口でもあります。

島留学生は、今後の奥尻町の活性化を担う頼もしい力となつており、島の子も達にとつても人との関わりの中で成長するための大きな力であると考へます。

町民の皆様におかれましてはも親元を離れて暮らす島留学生に対し、地元の子も達と同様に温かく見守っていただければと思ひます。

次に社会教育についてです。社会教育事業では継続してきた様々な事業に加え「おくしりチャレンジスクール」などの体験活動に力を入れてきました。地域人材との交流を深め、色々な経験を積むことで子ども達の成長に繋げ、あたたかい人づくりを育み、今後家庭や地域と一体となつた取組みを推進して行きます。

教育基本方針

1. 確かな学力の育成と豊かな心を育てる教育の推進
2. 奥尻町の風土に根ざす生活文化向上のための生涯学習の観点に立ち、ふれ合いと活力に満ちたまちづくりを目指す社会教育の推進
3. ふるさと奥尻を愛し、誇りが持てる人づくり

次に読書活動推進事業についてです。安らぎの場が少ない本町にとって海洋研修センター図書室は住民の貴重な憩いの場となっております。「よみきかせ」や「うみいろCafe」など図書館開放事業も推進していますので町民の皆様も機会があればご利用願ひます。

終わりになりますが、今後も教育行政に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和二年 元旦

奥尻町教育委員会

- 教育委員 上野 史朗
 (教育長職務代理者)
 教育委員 佐藤 康博
 教育委員 千田 真紀子
 教育委員 水野 展久
 事務局長 櫻花 幸久
 他職員 一同